

# (6) 副読本を活用した授業実践 「家族と考えよう、我が家の防災の取組」

## 1 日時

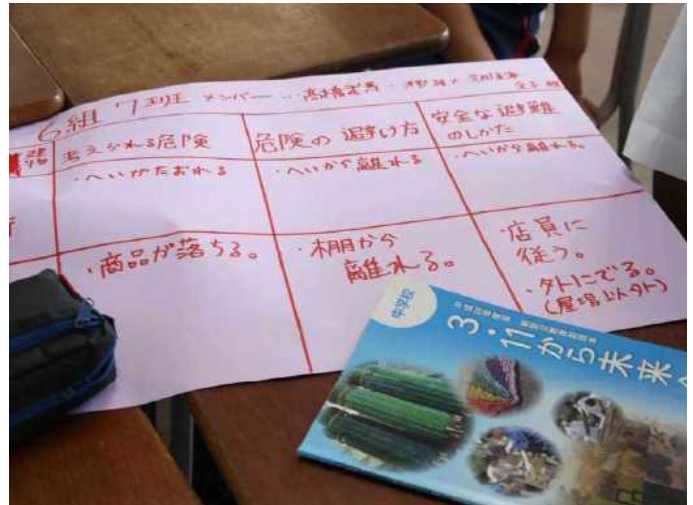
事前指導 7月15日(水)5校時  
事後指導 8月24日(月)3校時

## 2 対象

全校生徒およびその家族

## 3 ねらい

- (1) 家族で防災に関わる取組の機会を持ち、家庭での自助の力を高める。
- (2) 学校で、各家庭での防災の取組についての情報を共有し、様々な取組を知ることにより、より良い家庭での防災につなげていくこととする気持ちを高める。
- (3) 防災副読本を利用して、より具体的な例を挙げて防災への意識を向上させる。



## 4 内容

- (1) 各学年の取組
  - ① 1学年 「家にいる時、地震が起きたら」
  - ② 2学年 「外出時に地震が起きたら」
  - ③ 3学年 「災害に備えて」



## (2) 取組方法

- ① 夏休み前に事前学習を行い、夏休みに家族で防災について話し合うことや、その意識付けを行うに当たり、防災副読本を用い各学年毎に共通の取組を行った。
- ② 夏休み中に各家庭で防災についての話し合いを行い、課題のワークシートをまとめた。
- ③ 夏休み明けに、生活班毎に各自発表を行い、それぞれの家庭で考えてきた意見を共有する。その後、防災副読本も使いまとめ学習を行った。



各学年の、学年防災行事担当者が、事前指導、事後指導の略案と補足資料を作り、学年会等で内容を検討した後、当日の授業を展開した。

どの学年もグループ学習の形式をとり、話し合い活動を中心とした授業を行った。



楽しい雰囲気の中、授業は進められ、学校外で災害にあったときの対処の方法を身につけていた。

発表を真剣に聴き、新しい意見や質問など、内容が発展していく場面も多くみられた。



今年度は、「危機管理室減災推進課」より依頼された、「防災チェックシート」「我が家と地域の防災チェック表」も活用しての授業を行った。内容をより深めたものに繋げることができた。